

地下貯水槽の対応状況について

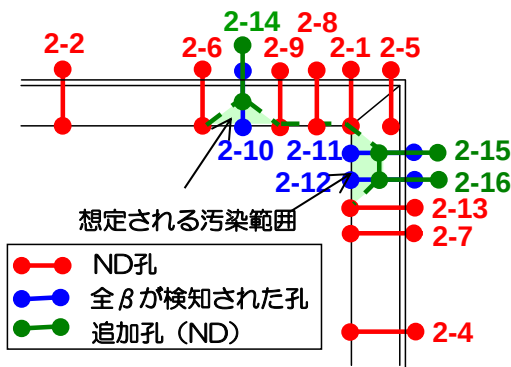
平成25年7月25日
東京電力株式会社



東京電力

1. No.2地下貯水槽周辺汚染土の除去について

- No.2地下貯水槽からの汚染水漏洩事故により汚染された土壌の範囲をボーリング調査により特定。
- 当該箇所の土壌を可能な限り除去し、グラウト材を充填する工事を7月13日より開始。7月中に完了予定。



※ボーリング本数（既実施）16本

図 No.2地下貯水槽（平面図）

施工スケジュール

	6月	7月
汚染範囲の特定	—	
準備工	—	—
土壌掘削、 グラウト材充填		—

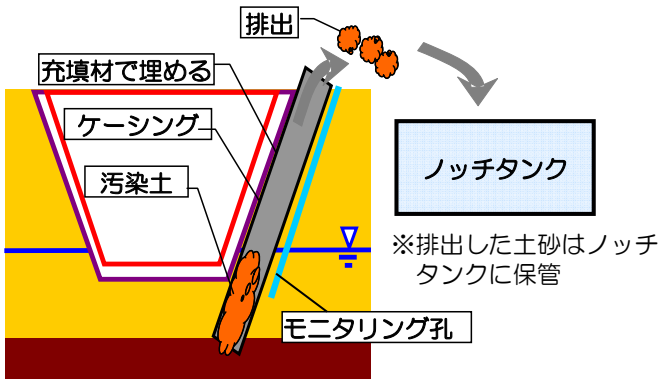


図 汚染土壌の除去



図 試験施工状況



東京電力

2. No.1地下貯水槽周辺汚染土の除去について

- No.1地下貯水槽からの汚染水漏洩事故により汚染された土壌範囲を特定するためにボーリング調査を追加した結果、全 β 濃度を検知した
- 再検査の上、追加ボーリング調査を行い、汚染した土壌範囲の調査を継続する

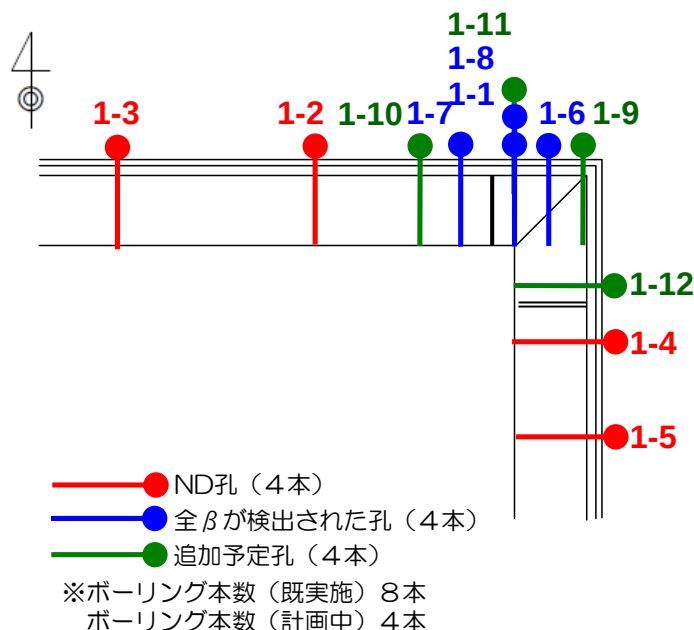
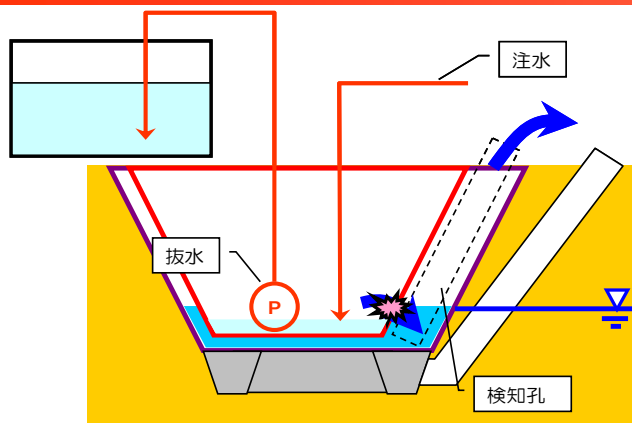


表 No.1地下貯水槽の観測孔の観測結果

地価貯水槽 No.1観測孔	採取日	全 β (Bq/cm ³)
1-1	6月24日	8.1E-01
1-2	6月24日	ND <3.0E-02
1-3	6月24日	ND <3.0E-02
1-4	6月24日	ND <3.0E-02
1-5	6月24日	ND <3.0E-02
1-6	7月11日	2.7E-01
1-7	7月11日	3.2E-01
1-8	7月11日	1.7E-01

図 No.1地下貯水槽周辺のボーリング位置

3. 地下貯水槽の残水の希釈について



- RO淡水の注入・抜水により、貯水槽内の残水の濃度を薄め、検知孔の汚染レベルを低下させる
注入量・頻度：40m³×5回=200m³
- 状況に応じ、希釈を継続する

No.1貯水槽

検知孔内水全 β 濃度 (Bq/cm ³)		貯水槽内全 β 濃度 (Bq/cm ³)	
6月19日	3.6E+02	原水	6.6E+04
1回希釈	2.4E+02	1回希釈	3.4E+02
2回希釈	1.8E+02	2回希釈	採水できず
3回希釈	1.4E+02	3回希釈	3.5E+02
4回希釈	1.4E+02	4回希釈	2.1E+02
5回希釈	1.4E+02	5回希釈	9.0E+02

No.2貯水槽

検知孔内水全 β 濃度 (Bq/cm ³)		貯水槽内全 β 濃度 (Bq/cm ³)	
6月26日	7.3E+02	原水	6.6E+04
1回希釈	9.4E+02	1回希釈	1.1E+03
2回希釈	1.0E+03	2回希釈	2.5E+02
3回希釈	4.4E+01	3回希釈	1.6E+03
4回希釈	6.0E+00	4回希釈	9.4E+02
5回希釈	今後予定	5回希釈	今後予定

4. 今後の対策工程

- 地下貯水槽からの汚染水漏洩について、引き続き、No.1及びNo.2地下貯水槽の残水の汚染濃度の希釈、汚染した土壌除去を実施する予定
- No.3及びNo.6の地下貯水槽内残水の希釈も適宜実施する予定

		平成25年度								
		7	8	9	10	11	12	1	2	3
汚染土壌 除去	No.1	汚染範囲調査		土壌除去						
	No.2	土壌除去								
希釈	No.1	希釈								
	No.2	希釈								
	No.3	希釈								
	No.6					希釈				
状態監視		ドレーン水位の監視								